

# 科学基礎論学会 2015年度 秋の研究例会プログラム

日 付:2015年11月7日(土)

会 場:東京大学駒場キャンパス

参加費:無料(非会員:1,000円)

A会場(12号館1階 1212教室)

B会場(12号館1階 1214教室)

## 【A会場】

10:00~12:00 「数学から心へーウイトゲンシュタイン哲学再考」

オーガナイザー 岡本賢吾(首都大学東京)

- 1 入江俊夫 (文教大学)  
「数学と心に関するウイトゲンシュタインの思考の連続性」
- 2 菅崎香乃 (筑波大学大学院)  
「ウイトゲンシュタイン「心理学の哲学」最初期の思考」
- 3 岡本賢吾 (首都大学東京)  
「TBA」

12:00~12:15 :科学基礎論学会奨励賞発表及び授与式【A会場】

12:15~13:30 :昼休み、企画委員会

## 【A会場】

13:30~15:30 「真矛盾主義の周辺」 ※来場者に  
応じて英語使用

オーガナイザー 大森仁(京都大学)

- 1 小山田圭一 (東京工業大学)  
「矛盾を認めることの難しさ」
- 2 藤川直也 (首都大学東京)  
「Nothingness as the Complement of the  
Totality」
- 3 出口康夫 (京都大学)  
「Compartmentalization of Trivialism: Nishida  
on Contradictory Self-identity」

## 【A会場】

15:45~17:45 「New Developments of Barwise  
and Seligman's Channel  
Theory」 ※英語使用

オーガナイザー 菊池誠(神戸大学)

- 1 Seligman, J. (Auckland 大学)  
「Knowledge in and about Situations:  
Edgington's response to Fitch's Paradox」
- 2 山田友幸 (北海道大学)  
「Parametric Constraints in Channel Theory」
- 3 下嶋 篤 (同志社大学)  
「The Barwise-Seligman Model of Representation  
Systems: A Philosophical Explication」

## 【B会場】

13:30~15:30 「現実とフィクションの相互作用:行  
為・理由・実在性」

オーガナイザー 西條玲奈(北海道大学)

- 1 高田敦史 (なし)  
「事実・虚構・理由—規範的理由とフィクションのパズル」
- 2 松本大輝 (東京大学)  
「虚構的情動のパラドクス:映画のモンスターを怖がる  
ことはいかにして可能なのか」
- 3 筒井晴香 (東京大学 UTCP)  
「フィクションと行為—2.5 次元から考える」

## 【B会場】

15:45~17:45 「鈴木貴之著『ぼくらが原子の集ま  
りなら、なぜ痛みや悲しみを感じる  
のだろう』合評会」

オーガナイザー 高村夏輝(松陰大学)

- 1 鈴木貴之 (南山大学人文学部)  
「意識のハード・プロブレムについて生産的に議論する  
には」
- 2 金杉武司 (國學院大學文学部)  
「説明上のギャップは本当に物理主義にとって無害な  
ものなのか?」
- 3 高村夏輝 (松陰大学経営文化学部)  
「知覚内容のパースペクティブ性と現実性」

## 科学基礎論学会

〒108-0023 東京都港区芝浦2-14-13 MCKビル2F 笹氣出版印刷株式会社内

TEL: 03-3455-4439 URL: <http://phsc.jp/> E-mail: [kisoron@sasappa.co.jp](mailto:kisoron@sasappa.co.jp)